

■日時：2017年11月14日（火）17:00-18:30

■場所：先端酵素学研究所 B棟 1F 交流ホール

# データ統合と 多階層モデリングによる 創薬の効率化

## 水口 賢司 先生

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所  
バイオインフォマティクスプロジェクトリーダー  
創薬デザインセンター インシリコ創薬支援プロジェクトリーダー

### ■要旨■

人工知能技術を医療や創薬研究に応用することへの期待が高まっているが、この分野では学習データの整備が大きな課題だと考えられる。

本講演では、ゲノムから化学構造までの多様なデータを如何に統合してコンピュータ解析可能な形でデータベース化するか、得られたデータから機械学習などを用いてどのように予測モデルを構築するか、さらに統計モデリングと数理モデリングを組み合わせることで異なった階層の生命現象をどのようにモデリングするか、などの基本問題を議論し、薬物動態や標的探索への応用例を紹介する。

本セミナーは大学院特別講義（医科学・栄養生命科学・口腔科学教育部）を兼ねています。大学院生、教員、学部学生等、興味を持つ全ての方のご来聴を歓迎致します。

お問合せ先：先端酵素学研究所 プロテオゲノム研究領域  
ゲノム制御学分野 片桐豊雅  
[tkatagi@genome.tokushima-u.ac.jp](mailto:tkatagi@genome.tokushima-u.ac.jp) 内線 9478